

自分の進路について考える

9月5日（木）

記録的な猛暑が続いたせいか、稲穂も一気に黄金色になり、学校周辺でも稲刈りが始まりました。昨日より体育大会の練習が始まりますが、9月は3年生にとっては「入試の半年前」になります。「まだまだ先のこと」と思っていた受験がもうそこまで来ています。志望校を決定するにあたり、「私たちの進路」（丹波市教育委員会）には次のような記述があります。

- （１）興味・関心に合った選択をしていますか「好きこそものの上手なれ」ということわざのとおり、性格や興味・関心にしがって将来の進路を決定することは、就職してからの生活や進学してからの生活をより充実したものにするために大切です。
- （２）能力・適性を考えた選択をしていますか就職・進学どちらにしても、自分の能力をいかす職業や学校を選んでいくことは大切なことです。自分自身の能力・適性を発見することは難しいことかもしれませんが、これからの自分の人生を考えていく上で重要な要素になることでしょう。
- （３）職業や学校についてよく調べていますかその学校で取得できる資格が、将来の就職・進学にどうつながるかを考えましょう。また、仕事の内容や職場の勤務条件、学校での学習内容をよく知った上で、進路を決定しましょう。
- （４）経済的条件を考えた選択をしていますか進学にかかる費用は進路によってさまざまです。保護者としてしっかりと相談しなければなりません。支援金や奨学金の制度もありますので、先生ともよく相談しましょう。

※他にも通学に要する時間や交通費なども大きな要素となります。それらを含め、この時期にしっかりと保護者と話し合いをしましょう。そして最後に決断するのは「自分自身」です。自分で決めた進路なら、困難に直面しても言い訳はできませんから。毎年、3年生の保護者向けに紹介している言葉を今年も紹介します。要約すると以下の3点です。

1点目は、「必ず希望高校を見に行くこと」

2点目は、「志望校を決めたら保護者から雑音は挟まず子供に挑戦させること」

3点目は「普段から親も子も主語は『私』にすること」です。

体育大会の練習風景 9月4日(水)

